Hamee (TYO: 3134)

2025年4月期は会社計画を上回る。2025年はいよいよ NE社の株式分配型スピンオフと上場へ

◇ 2025年4月期通期決算ハイライト: 2桁増収増益

Hamee (以下、同社) が2025年6月13日に発表した2025年4月期通期決算は、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が高成長となった。

業績概要:売上高・営業利益・経常利益は会社予想を上回り、営業利益・経常利益は最高益を更新した。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は関係会社株式評価損の計上のため予想には届かなかったものの2桁増だった。

具体的には、通期で、売上高228.9億円(前年度比30.0%増)、営業利益23.5億円(同22.8%増)、経常利益23.5億円(同16.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益12.7億円(同13.9%増)である。

なお貸借対照表において在庫が増加しているが、事業拡大のためであり、概ね想定通りである。

セグメント別:主力2セグメントともに好要素が目立つ。コマースセグメントは主要 事業がいずれも好調で売上高、セグメント利益ともに期初予想を上回った。プラットフォームセグメントは増収率が会社予想を若干下回ったものの、セグメント利益 は会社予想を上回っている。

コマースセグメント詳細: モバイルライフ事業、コスメティクス事業、ゲーミングアクセサリー事業、グローバル事業がいずれも着実に増収している。利益面においては、従来から主力であったモバイルライフ事業が増益になるなか、ゲーミングアクセサリー事業、グローバル事業が大幅に利益を伸ばし、コスメティクス事業も通期で黒字転換を果たした。

こうした隙のない業績拡大の要因は、各ブランドごとに、その特性を活かした商品 戦略、EC・実店舗双方での販売チャネル強化、的確なプロモーション展開が複合的 に機能していることである。特定の事業に偏重することないバランスの取れた事業 ポートフォリオが形成できたと言えるだろう。

<u>モバイルライフ事業</u>:13.2%増収、6.6%増益(通期、以下同様)。新型iPhone向けケースなどの製品とMagsafe機能を活用したモバイルバッテリーなどの周辺アクセサリーが好調。さらに新シリーズBeBlingやGalaxy対応ケースなどへ商品展開が進む。

<u>コスメティクス事業</u>: 54.3%増収、通期黒字化(通期、以下同様)。継続的に新商品の投入を行い、ブランド認知と販路拡大を継続しているため、四半期別の損益にはブレがあるものの、通期の黒字化を実現し一つのマイルストーンを達成したと言える。

ゲーミングアクセサリー事業: 232.3%増収、1623.0%増益。空間訴求をコンセプトとして、ホワイトカラーをはじめとした各色の高性能新型モニター、およびオリジナルモニターアームなどの周辺アクセサリーを展開、販路も拡大し、売上高が急拡大している。今後はモニター周辺機器の強化と、DXを通じた顧客接点の強化を進めて持続成長を目指す戦略である。

グローバル事業: 17.2%増収、17.2%増益。クリスマス商戦を取り込めており好調だ。米国での販路拡大が進んでおり、今後は韓国・欧州への展開も計画されている。製造利益も増えている。

40決算アップデート

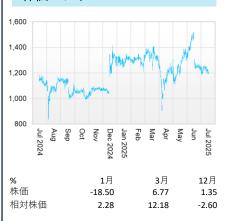
小売・ITサービス

o

2025年7月17日

株価(7/16)	1,198 ⊞
52週高值/安值	830/1,519 円
1日出来高(3ヶ月)	98 千株
時価総額	195 億円
企業価値	191 億円
PER(26/4会社予想)	9.6倍
PBR(24/4実)	1.8 倍
予想配当利回り(26/4)	1.9 %
ROE(25/4)	12.4 %
営業利益率(25/4期)	10.3 %
ベータ(5年間)	0.9
発行済株式数	16.3 百万株
上場市場	東証スタンダード

株価パフォーマンス



注目点

事業ポートフォリオを構築するに至ったコマース事業の成長に弾みがつくか、コマース事業の「ZカルチャーSPAと脱炭素の両立」というMission / Strategyの具体的展望、プラットフォーム事業の足もとの着実な成長と中期成長ビジョンの再構築、2025年内に従来計画通りNE社の株式分配型スピンオフと上場が行われるか否か、その際のNE社のIPO価格はどうなるか、米国の関税の影響を管理できるか、など。

当レポート(Company note)は、Hameeの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレーマを参照ください。

プラットフォームセグメント: 主力のネクストエンジン事業が実質的に着実に成長通期実績はセグメント全体で4.1%増収、8.2%増益、主力のネクストエンジン事業で4.7%増収だった。しかし、前年度下期に発生したメルカリとの営業連携に伴う一過性の売上高を調整すると、ネクストエンジン事業は11.3%増収である。同事業の総契約社数が堅調に増えており、解約率も安定し、受託処理件数2.4%増、(前述のメルカリ関連の影響を除く)実態ARPU5.9%増となっている。収益面では、エンサーモール等新規事業の費用がかさんだものの、ネクストエンジン事業の成長に加えて、ロカルコ事業とコンサルティング事業が採算面でしっかり推移したことがセグメント増益をもたらした。

◇NE株式会社のスピンオフと上場:従来の計画通り2025年実施へ向けて進捗

従来の計画に従い、プラットフォームセグメントを担うNE株式会社について、2025年7月28日開催予定のHamee株式会社第27回定時株主総会にて、Hamee社が保有するNE社の全株式を、現物配当(金銭以外の財産による配当)によりHamee社株主に分配する(以下「本スピンオフ」)ことが付議される。本件の実施は、東証への上場が承認された場合である。またこの狙いは、経営スピードと事業効率の最大化、プラットフォーム事業に対する適正な評価の確保、成長戦略の自由度の拡大であり、簡潔に言えば、現在の2セグメントを独立させることで、それぞれの成長速度を高め、かつ株式市場の評価においてコングロマリット・ディスカウントがあるとすればこれを解消することが狙いであり、基本的に歓迎すべき動きである。

株主総会の承認と東証の上場承認が予定通りに進めば、2025年10月29日が権利付き 最終日となり、この時点の株主はNE社の株式を11月4日に受け取り、その時点でNE 社の株式が上場していることになる。

(詳細は後段の図表をご参照)

◇2026年4月期通期見通し:二桁の増収増益が続く会社予想

現時点では、上記スピンオフがない前提の予想が示されている。

連結業績予想:第二四半期累計では、売上高119.4億円(同11.8%増)、営業利益 11.9億円(同17.1%増)、経常利益11.3億円(同10.2%増)、親会社株主に帰属する 四半期純利益7.7億円(同15.9%増)である、

また、通期では、売上高255.2億円(同11.5%増)、営業利益29.2億円(同24.1%増)、経常利益27.9億円(同19.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益19.4億円(同51.8%増)、1株あたり当期純利益119.05円、1株当たり配当は22.50円(同変わらず)である。

コマース事業:事業ポートフォリオの形ができつつあることを踏まえ、今後は「ZカルチャーSPAと脱炭素の両立」をMission / Strategyとし、さらに脱炭素も進める予定である。

そして2026年4月期においては、モバイルライフ、コスメティクス、ゲーミングアクセサリー、グローバルの各事業をいずれも伸ばし、通期売上高213.5億円(同12.5%増)、セグメント利益27.1億円(同25.9%増)という高い成長率を目指す。なお、このセグメント予想は従来の中期経営計画のガイダンスよりも高い数値である。

プラットフォーム事業:新規展開を進めていたエンサーモール事業(メーカーと小売店をマッチングする卸売マーケットプレイス)を一旦終了し、新たに構想を進めている「グローカルコマース・プラットフォーム構想」を推進する中核サービスとして再構築されることになった。ロカルコ事業も足踏みが想定されており、主力のネクストエンジン事業の「ARPU引き上げ」を最重要なKPIとし、顧客属性に応じてAI活用による自動ツールの活用からコンサルティング事業との連携による深い関係構築まで、生産性を意識しながら幅広いアプローチで営業活動を展開する予定である。

2026年4月期の予想は、通期売上高41.7億円(同6.9%増)、セグメント利益20.6億円(同0.8%減)となっている。利益の伸び悩みは、IPO準備費用および新規事業の先行投資を織り込んでいるためである。

また、この予想は従来の中期経営計画のガイダンスよりも低い数値である。

(スピンオフが実施されることになった場合の業績予想については、後段の図表を ご参照)



◇株価動向と今後の注目点

同社の株価は5月に入りじり高になり、決算発表前日の6月12日に高値1519円をつけたが、決算発表後に株価は下落し1250円前後で推移している。

これは2026年4月期の業績予想が二桁の増収増益の計画であるものの、従来の中期経営計画に対して(売上高予想は上回っているものの)営業利益の予想額が下回ったこと(中計30.3億円、今回予想29.2億円)、その主因がプラットフォーム事業の利益の伸び悩みにあること(中計23.9億円、今回予想20.6億円)であると推測される。

これは、「スピンオフによってプラットフォーム事業の価値がより高く顕在化する」という投資アイデアが一旦沈静化したということであろう。

しかし、現在の株価はスピンオフがない前提で予想PER10倍程度、PBRも1.9倍程度であり、株式市場は2事業の成長ポテンシャルに対して高い評価をしているとは言えない。言い換えれば、株価にはアップサイドがあるとも言えるだろう。

従って、今後の注目点は次の諸点である。

- コマースセグメントの成長に弾みがつくこと。すなわち、モバイルライフ、コスメティクス、ゲーミングアクセサリー、グローバルの各事業がしっかり成長し利益を伸ばすこと
- コマースセグメントの今後のMission / Strategyである「ZカルチャーSPAと脱炭素の両立」の具体的展望、および同社の競争優位性
- コマースセグメントにおいて米国の関税引き上げの影響を管理しその影響を最小 化すること
- プラットフォームセグメントの成長ストーリーの再構築
- ネクストエンジン事業において顧客属性に従ったAPRUの最大化策が進捗し、2026年4月期の着地が増収増益になること
- NE社が分割・上場する場合の資本構成、株主構成、キャピタルアロケーションの 考え方が明確になること
- NE社のIPO時の株価
- NE社の経営陣が (IPO後に) 成長へのこだわりを具体的例で示すこと



会社概要

◇ Hamee株式会社(以下、同社)は1997年に創業、2015年に東証マザーズにて株式公開、現在はスタンダード市場に上場。モバイルアクセサリーをはじめコスメティクス事業、ゲーミングアクセサリー事業、グローバル事業などを展開する「コマースセグメント」と、インターネット通販事業者向けにネットショップ運営にかかわる業務を自動化しモール横断型で複数店舗の受注処理や在庫状況を一元管理できるクラウド(SaaS)型のECAttractions"ネクストエンジン"を提供することを主とする「プラットフォームセグメント」の二つのセグメントを分社化して運営している。

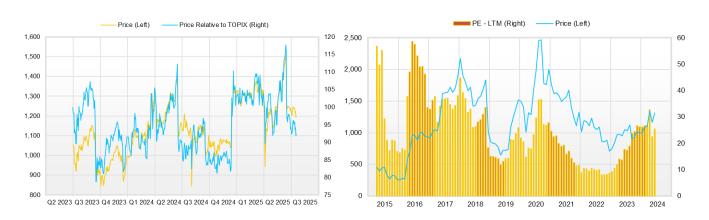
同社は2025年に組織再編を計画している。プラットフォームセグメントを担うNE株式会社について株式分配型スピンオフを行い、NE社を株式上場させる予定だ。一連の再編によってコングロマリットディスカウントを回避し、2セグメントそれぞれ効率的運営を行いそれぞれの事業価値を適切かつタイムリーに株価に反映させることがその狙いである。

主要財務データ

単位: 百万円	2021/4	2022/4	2023/4	2024/4	2025/4	2026/4 会社予想
売上高	12,363	13,413	14,038	17,612	22,895	25,528
EBIT(営業利益)	2,180	2,202	1,251	1,964	2,346	
税引前収益	2,144	2,463	1,396	2,009	1,991	
親会社株主帰属利益	1,556	1,744	945	1,122	1,278	1,940
現金・預金	3,355	4,026	3,536	4,022	4,994	
総資産	8,342	10,524	12,392	14,885	16,973	
債務合計	104	544	1,300	2,327	3,850	
純有利子負債	-3,251	-3,482	-2,236	-1,694	-1,144	
負債総額	1,814	2,271	3,431	4,728	6,402	
株主資本	6,528	8,253	8,961	10,157	10,570	
営業活動によるキャッシュフロー	1,941	1,186	695	886	827	
設備投資額	351	1,018	487	477	783	
投資活動によるキャッシュフロー	-412	-886	-1,507	-877	-922	
財務活動によるキャッシュフロー	-1,736	298	263	380	1,171	
フリーキャッシュフロー	1,760	362	405	577	225	
ROA (%)	18.94	18.49	8.25	8.22	8.02	
ROE (%)	27.42	23.60	10.98	11.73	12.33	
EPS (円)	98.4	109.7	59.4	70.4	80.2	121.6
BPS (円)	411.1	519.1	563.0	637.6	662.6	
一株当り配当(円)	10.00	22.50	22.50	22.50	22.50	22.50
発行済み株式数(百万株)	16.21	16.27	16.27	16.28	16.29	

出所:同社資料よりOmega Investment 作成、小数点以下四捨五入

株価推移



2025年4月期通期決算概況

全社業績概況

25年4月期4Q 一連結財務ハイライト

- コマースセグメントを中心に売上高が好調に推移したこと、またこれに伴って営業利益も伸長したことから、売上高、営業利益ともに過去最高を事務
- 新商品展開、効果的な販売促進、国内外の販路拡大が功を奏し、コマースセグメントが好調。全体の業績向上に大きく貢献
- ネクストエンジン事業のARPU向上 とコスト削減による各事業の収益体 質強化によりプラットフォーム事業 全体での利益計画を超過



出所:同社資料

25年4月期4Q セグメント別概況

● コマースセグメント 売上高は前年比37.0%、セグメント利益は前年比58.0%と大幅増収増益

● プラットフォームセグメント 売上高は前年比4.1%成長を達成しつつ、利益面では前年比8.2%と力強い伸びを実現

● 調整額(本部費)については NE(株)の本社移転費用やスピンオフ IPO準備費用、グループ各社の人件費等が増加

(百万円)			会計	期間		累計期間				
連結セグメント概況		2024/04 4Q実績	2025/04 4Q実績	増減額	前年比	2024/04 1Q~4Q実績	2025/04 1Q~4Q 実績	增減額	前年比	
	売上高	3,934	4,656	722	18.4%	13,855	18,986	5,130	37.0%	
コマース	セグメント利益	448	622	173	38.8%	1,365	2,158	792	58.0%	
	利益率	11.4%	13.4%	2.0%	_	9.9%	11.4%	1.5%	_	
	売上高	895	901	6	0.7%	3,756	3,908	152	4.1%	
プラットフォーム	セグメント利益	446	440	Δ6	△ 1.5%	1,925	2,083	158	8.2%	
	利益率	49.9%	48.8%	Δ 1.1%	_	51.3%	53.3%	2.0%	_	
	売上高	4,829	5,558	729	15.1%	17,612	22,895	5,283	30.0%	
	セグメント利益	894	1,062	167	18.7%	3,290	4,241	950	28.9%	
連結	調整額※	△339	△646	△ 306	_	△1,373	Δ1,887	△513	_	
	営業利益	555	415	△139	△ 25.1%	1,917	2,354	436	22.8%	
	利益率	11.5%	7.5%	△ 4.0%		10.9%	10.3%	△0.6%		

I⁻I Hamee

※膜整額・全社的な本部費用を「調整額」として記載しております。なお、各事業セグメントの業績をより 適切に評価するため、一般管理費のうち本社管理費等を調整額に含めるよう配分方法を変更しております。

出所:同社資料

5

連結



2025年4月期通期決算概況(続き)

コマースセグメント概況

連結

25年4月期4Q コマースセグメント概況(売上高)

- 新規事業を除く全事業において、会計・累計期間ともに大幅増収を達成
- モバイルライフ事業は、新製品および周辺アクセサリーが好調を維持し、前年比13.2%増収
- コスメティクス事業は、各種アワード受賞やポップアップストア出店等、導入店舗数増加に伴い 増収
- ゲーミングアクセサリー事業はカラーモニターが年間を通じて売上を牽引。各種モールセールや卸販売の拡大により前年 比約3.3倍の増収
- 「グローバル事業は4Q会計期間ではクリスマス商戦の反動によりEC販売の鈍化があったものの、年間を通して<u>卸売販売が牽引役</u>となり、結果として累計期間では前年比17.2%増収を実現

(百万円)			会計期間	1	累計期間				
コマースも	セグメント	2024/04 4Q実績	2025/04 4Q実績	增減額	前年比	2024/04 1Q~4Q実績	2025/04 1Q~4Q 実績	增減額	前年比
売上高		3,934	4,656	722	18.4%	13,855	18,986	5,130	37.0%
	モバイルライフ事業	1,861	2,116	254	13.7%	7,387	8,359	971	13.2%
	コスメティクス事業	799	813	14	1.8%	2,219	3,424	1,205	54.3%
	ゲーミングアクセサリー事業	440	1,094	654	148.4%	1,115	3,706	2,590	232.3%
	新規事業投資	72	41	△30	△42.5%	270	140	△130	△48.2%
	グローバル事業	760	590	△170	△ 22.4%	2,863	3,356	493	17.2%

出所:同社資料

連結

25年4月期4Q コマースセグメント概況(営業利益)

- モバイルライフ事業の新商品展開、ゲーミングアクセサリー事業の商品力、グローバル事業の卸販売拡大及び各種モールセールでの健闘により利益貢献
- コスメティクス事業は販売チャネルミックスの変化や卸販売増加に伴う販促費及び物流費の増加による影響で、会計期間87.1%減益となったものの、通期黒字化を達成。

(百万円)			会計期間	1		累計期間				
コマースセク	[†] メント	2024/04 4Q実績	2025/04 4Q実績	增減額	前年比	2024/04 1Q~4Q実績				
営業利益		448	622	173	38.8%	1,365	2,158	792	58.0%	
	モバイルライフ事業	343	385	42	12.3%	1,399	1,491	91	6.6%	
	コスメティクス事業	54	7	△47	△ 87.1%	Δ232	9	242	10.	
	ゲーミングアクセサリー事業	28	126	98	348%	16	284	268	1,623.0%	
	新規事業投資	△55	△65	Δ10	-	△230	△224	5	0	
	機能部署	△72	△66	5	10-0	△310	△250	60		
	グローバル事業	149	235	85	57.2%	722	846	124	17.2%	
営業利益率		11.4%	13.4%	2.0%	_	9.9%	11.4%	1.5%		



2025年4月期通期決算概況(続き)

プラットフォームセグメント概況

連結

25年4月期4Q プラットフォームセグメント概況

- 前期にメルカリとの営業連携に伴う一過性の売上(3Q:140百万円、4Q:41百万円)が発生したため前4Q会計期間比で減収となるも、当該特殊要因を除くと ネクストエンジン事業 は会計期間で4.6%の増収、累計期間で11.3%の増収
- ロカルコ事業 は、会計期間で44.7%の大幅な増収、累計期間でも11.6%の増収 伝統工芸品のEC販売事業も徐々に貢献
- コンサルティング事業 は引き続き徹底した採算管理と稼働率向上施策により減収となるも増益

(百万円)			会計	期間		累計期間				
プラットファ	プラットフォームセグメント		2025/04 4Q実績	増減額	前年比	2024/04 1Q~4Q実績	2025/04 1Q~4Q実績	増減額	前年比	
売上高		895	901	6	0.7 %	3,756	3,908	152	4.1 %	
	ネクストエンジン事業	747	737	Δ9	Δ1.3%	2,820	2,953	133	4.7 %	
	ロカルコ事業	49	71	22	44.7 %	520	581	60	11.6 %	
	コンサルティング事業	98	92	Δ6	△6.6%	415	372	△42	△10.2%	
営業利益	ŧ	446	440	Δ6	Δ1.5%	1,925	2,083	158	8.2 %	
営業利益	率	49.9%	48.8%	△1.1%	_	51.3%	53.3%	2.0%	_	

出所:同社資料

ネクストエンジン ―各種指標データ

プラットフォーム

			2024/4		2025/4					
年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
契約社数(社)	5,917	6,033	6,150	6,256	6,256	6,329	6,426	6,489	6,570	6,570
導入店舗数(店)	46,865	47,728	49,311	50,471	50,471	51,396	52,311	52,867	53,602	53,602
GMV(億円)	2,797	2,623	2,921	2,795	11,138	2,736	2,667	3,422	3,052	11,879
ARPU(円)	35,392	32,863	46,534	39,983	38,693	39,450	36,687	39,650	37,666	38,363
月次解約率	0.94%	0.82%	0.92%	0.84%	0.88%	0.75%	0.87%	0.84%	0.90%	0.84%
受注処理件数(万件)	3,702	3,314	3,638	3,553	14,209	3,559	3,322	3,952	3,718	14,554
LTV(Lifetime Value) (円)	3,784,611	3,991,849	5,050,357	4,779,658	4,401,619	5,238,076	4,209,814	4,735,401	4,170,813	4,588,526

※GMV及び受注処理件数はキャンセル処理分を除外した各四半期期末における合計値、月次解約率は 四半期期間における解約数の平均から四半期末時点の契約社数を除算した数値を記載しております。

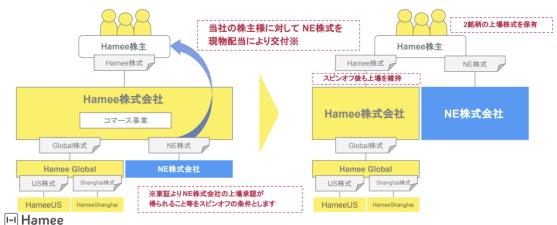


NE株式会社のスピンオフと上場

NE株式会社の株式分配型スピンオフ・上場について

NE株式会社の株式分配型スピンオフ・上場(2025年中予定)

詳細は2025年6月13日公表「子会社株式の現物配当(株式分配型スピンオフ)及び特定子会社の異動に関するお知らせ」をご覧ください。



2025 Hamee Corp. All Rights Reserved | 58

出所:同社資料

NE株式会社の株式分配型スピンオフ・上場の目的

経営スピードと事業効率の最大化

質の違う2つの事業の成長を最大限に担保するためには、意思決定プロセスの単純化や、労働環境、給与水 準などを それぞれの事業に合わせる必要があるものの、現組織体制では全体最適が優先されるため当該課題の根本的な解決 が困難となっており、それが非効率化に繋がっていると考えております。本スピンオフにより両社が適正な制度と迅速な 意思決定を採用でき、事業の成長速度と資源効率の向上が期待されます。

プラットフォーム事業に対する適正な評価の確保

現在の当社に対する市場からの評価は、ECや卸販売の売上比率の高さからコマース企業の側面が強調されたものになっていると認識しております。これに起因し、プラットフォーム事業に対してSaaS運営企業としての市場評価が適切に反映されず、株主価値を最大限に発揮できていないと考えております。本スピンオフにより、両社が適切な評価を得ることを可能にします。

成長戦略の自由度の拡大

現在具体的な問題が生じている訳ではありませんが、成長戦略を描く際に全体最適を過度に意識した場合、取り得る 選択肢の自由度が担保されず、成長戦略の実現に影響が生じる可能性も考えられます。本スピンオフにより、<u>両社は</u> 事業特性に合った柔軟な戦略オプションを選択することが可能</u>となります。



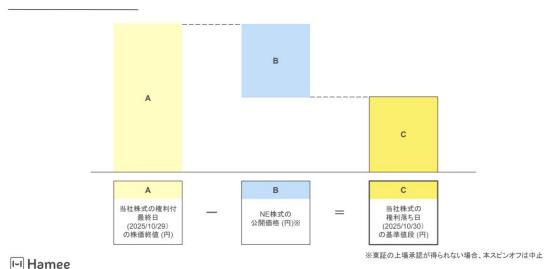
NE株式会社のスピンオフと上場

スピンオフまでのスケジュール(2025年)



出所:同社資料

株価イメージ



Homee

2025 Hamee Corp. All Rights Reserved | 63



Hameeグループの戦略

NE㈱スピンオフ後の Hameeグループについて



Mission/Strategy

ZカルチャーSPAと脱炭素の両立









Zカルチャー×SPA(垂直統合型・製造小売)モデルによる 高成長率・高利益率のビジネスを実現し企業価値を向上

[⁻□ Hamee

2025 Hamee Corp. All Rights Reserved | 37

NE㈱スピンオフ後の Hameeグループについて

Z_{世代} カルチャー

Z世代(将来を担う次世代)市場は今後の 消費を牽引する <u>急成長マーケット</u>であり 高成長が可能

Z世代が大切にする カルチャー(自己表現、共感、サスティナビリティ等)を形にした付加価値の高いプロダクト 提供により高利益率を実現



高成長 高利益率 SPA 垂直統合型 製造小売

商品企画→製造→販売までを自社でコントロー ルするビジネスモデル。中間マージンを最小 化、高利益率を確保

多様なチャネルから得たデータをリアルタイム で分析し「<u>売れ筋・トレンド」を素早く商品企画に</u> 取り込み、プロダクトへ反映

小ロット/高頻度生産で<u>在庫リスクを最小化</u>



NE社の戦略

基本的な事業戦略

ネクストエンジンとその強固な顧客基盤を事業の中心に据え、顧客の体験価値の向上、顧客ごとの個別ニーズへの対応、ステージ別の顧客支援、顧客構造変化への対応を通じてブランド価値を高めていきます

顧客ごとの個別ニーズへの適合

・「ネクストエンジン・オーダーメイド」 による顧客事業者の個別課題への対応

NEXT ENGINE

顧客の体験価値の向上

・Al連携によるサポート不要のUI実装・他事業との連携による顧客体験の拡張

顧客構造変化への対応

・外部パートナー活用による 「人を介した利用価値の翻訳・接続」

ステージ別の顧客支援

・企業アセットの活用による顧客の成長 ステージに合わせた各種支援の実践

[∹] Hamee

2025 Hamee Corp. All Rights Reserved | 52

各施策の狙い

• それぞれの施策により、顧客への貢献と自社サービスの成長という好循環を生み出します

顧客ごとの個別ニーズへの適合

・願客ごとに異なる運営上のニーズに 受託開発サービスで対応することで ARPUの向上と同時にネクストエンジン を必須の存在へ

NEXT ENGINE

顧客の体験価値の向上

- ・ネクストエンジン活用の壁を取り除さ 顧客の**業績進展に貢献**
- ・コンサル事業等他の事業との連携を通じて顧客の**ビジネス拡張機会を創出**

顧客構造変化への対応

・スモールビジネスとの親和性を高める ためのタッチポイントを増大させる ことで、新規導入企業の増加と解約抑制 を実現

ステージ別の顧客支援

・ネクストエンジンのデータを活用した ダッシュボード機能、教育コンテンツ、 コンサルサービス等、ステージ別の顧客 支援で**ブランド価値を創出**



2026年4月期業績予想(スピンオフなし)

連結業績予想(スピンオフなし)

(百万円)	実	績	業績予想					
連結セグメント	2025/04 2Q	2025/04 4Q	2026/04 2Q	前期比	2026/04 4Q	前期比		
売上高	10,677	22,895	11,940	11.8%	25,528	11.5%		
営業利益	1,021	2,354	1,196	17.1%	2,920	24.1%		
経常利益	1,033	2,352	1,139	10.2%	2,798	19.0%		
親会社株主に帰属 する当期純利益	665	1,278	771	15.9%	1,940	51.8%		
一株当たり配当金	_	22.5	_	_	22.5	_		

[∹] Hamee

2025 Hamee Corp. All Rights Reserved | 55

連結業績予想(スピンオフなし)

(百万円)		実	績	業績予想					
連結セグメント		2025/04 2Q	2025/04 4Q	2026/04 2Q	前期比	2026/04 4Q	前期比		
	売上高	8,874	18,986	10,006	12.7%	21,350	12.5%		
コマース	セグメント利益	834	2,158	1,226	46.9%	2,716	25.9%		
	利益率	9.4%	11.4%	12.3%	_	12.7%	_		
	売上高	1,802	3,908	1,934	7.3%	4,177	6.9%		
プラットフォーム	セグメント利益	950	2,083	905	△ 4.7%	2,066	△0.8%		
	利益率	52.7%	53.3%	46.8%	_	49.5%	_		
	売上高	10,677	22,895	11,940	11.8%	25,528	11.5%		
	セグメント利益	1,784	4,241	2,131	19.4%	4,783	12.8%		
連結	調整額※	△763	△1,887	△935	_	△1,862	_		
	営業利益	1,021	2,354	1,196	17.1%	2,920	24.1%		
	利益率	9.6%	10.3%	10.0%	_	11.4%	_		



2026年4月期業績予想(スピンオフなし)

連結業績予想(コマース)

- モバイルライフ事業: 新カテゴリーにおける新製品リリースを計画されており、年4.4%の成長を見込む
- コスメティクス事業:新製品リリースによる、年32%の成長を見込む。利益率の改善も継続して実施。
- ゲーミングアクセサリー事業: 年7%を超える成長の実現。新カテゴリーにおける新製品のリリースを予定。
- グローバル事業:コスメやゲーミングアクセサリーの海外展開を計画。前期の成長率の上回る成長を見込む。

(百万	5円)	実	漬	業績予想				
コマ-	ースセグメント	2025/04 2Q	2025/04 4Q	2026/04 2Q	前期比	2026/04 4Q	前期比	
売上	高	8,874	18,986	10,006	12.7%	21,350	12.5%	
	モバイルライフ事業	4,188	8,359	4,436	5.9%	8,724	4.4%	
	コスメティクス事業	1,822	3,424	2,136	17.2%	4,520	32.0%	
	ゲーミングアクセサリー事業	1,461	3,706	1,786	22.3%	3,970	7.1%	
	新規事業投資	61	140	56	△ 7.6%	117	△ 16.6%	
	グローバル事業	1,341	3,356	1,591	18.6%	4,018	19.7%	
セグ	メント利益	834	2,158	1,226	46.9%	2,716	25.9%	

出所:同社資料

連結業績予想(プラットフォーム)

- 主力のネクストエンジン事業は約10%の成長、コンサルティング事業においては44%の成長を見込む
- ロカルコ事業に関しては、ふるさと納税事業において自治体との契約が解消されることが見込まれていることから業績予想は減収。今後は近隣自治体への営業を強化する方向に戦略転換。
- セグメント営業利益に関しては、ネクストエンジン事業やコンサルティング事業の増収効果がある一方で、IPO準備費用及び、新規事業への先行投資も発生するため、前期に対してほぼ横ばい

(百万	5円)	実	漬	業績予想				
プラットフォームセグメント		2025/04 2Q	2025/04 4Q	2026/04 2Q	前期比	2026/04 4Q	前期比	
売上	<u></u>	1,802	3,908	1,934	7.3%	4,177	6.9%	
	ネクストエンジン事業	1,448	2,953	1,540	6.3%	3,238	9.7%	
	ロカルコ事業	170	581	175	2.6%	401	△ 30.9%	
	コンサルティング事業	183	372	218	19.3%	537	44.1%	
セグス	メント利益	950	2,083	905	△ 4.7%	2,066	△ 0.8%	



2026年4月期業績予想(スピンオフあり)

連結業績予想(スピンオフあり)

NE㈱はQ1-Q2は連結、 Q3-Q4は連結から外れる

(百万円)	実	績	業績予想				
連結セグメント	2025/04 2Q	2025/04 4Q	2026/04 2Q	前期比	2026/04 4Q	前期比	
売上高	10,677	22,895	11,940	11.8%	23,285	_	
営業利益	1,021	2,354	1,196	17.1%	2,073	_	
経常利益	1,033	2,352	1,139	10.2%	1,990	_	
親会社株主に帰属する当期純利益	665	1,278	771	15.9%	1,417	_	
一株当たり配当金	_	22.5		_	22.5	_	

I→**I** Hamee

2025 Hamee Corp. All Rights Reserved | 68

連結業績予想(スピンオフあり)

NE㈱はQ1-Q2は連結、 Q3-Q4は連結から外れる

(百万円)		実	漬	業績予想					
		2025/04 2Q	2025/04 4Q	2026/04 2Q	前期比	2026/04 4Q	前期比		
	売上高	8,874	18,986	10,006	12.7%	21,350	12.5%		
コマース	セグメント利益	834	2,158	1,226	46.9%	2,716	25.9%		
	利益率	9.4%	11.4%	12.3%	_	12.7%	_		
プラットフォーム	売上高	1,802	3,908	1,934	7.3%	1,934	_		
	セグメント利益	950	2,083	905	△ 4.7%	905	_		
	利益率	52.7%	53.3%	46.8%	_	46.8%	_		
	売上高	10,677	22,895	11,940	11.8%	23,285	_		
連結	セグメント利益	1,784	4,241	2,131	19.4%	3,621	_		
	調整額※	△763	△1,887	△935	-	△1,548	_		
	営業利益	1,021	2,354	1,196	17.1%	2,073	_		
	利益率	9.6%	10.3%	10.0%	_	8.9%	_		

| Hamee

※調整額:全社的な本部費用を「調整額」として記載しております。なお、各事業セグメントの業績をより 適切に評価するため、一般管理費のうち本社管理費等を調整額に含めるよう配分方法を変更しております。



財務データ | (四半期ベース)

単位: 百万円	2023/4期	2024/4期				2025/4期			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
[損益計算書]									
売上高	3,496	3,317	4,315	5,151	4,829	4,579	6,099	6,659	5,558
 前年同期比	1.8%	6.8%	22.3%	31.8%	38.1%	38.1%	41.3%	29.3%	15.1%
	1,517	1,279	1,631	1,858	1,977	1,841	2,628	2,668	2,261
売上総利益	1,979	2,038	2,684	3,293	2,852	2,738	3,471	3,991	3,297
粗利率	56.6%	61.4%	62.2%	63.9%	59.1%	59.8%	56.9%	59.9%	59.3%
 販管費	1,894	1,863	2,224	2,565	2,306	2,505	2,691	3,074	2,882
EBIT(営業利益)	85	187	470	756	551	233	780	917	415
 前年同期比	-74.0%	-24.8%	44.1%	27.0%	545.8%	24.7%	65.9%	21.3%	-24.6%
 EBITマージン	2.4%	5.6%	10.9%	14.7%	11.4%	5.1%	12.8%	13.8%	7.5%
EBITDA	332	377	670	953	749	435	941	1,163	623
 税引前収益	174	205	492	737	576	200	811	702	278
 当期利益	130	-133	334	492	428	101	564	400	211
 親会社株主帰属利益	130	-133	334	492	428	101	564	400	211
 前年同期比	-55.8%	-164.0%	16.1%	53.6%	228.4%	-176.6%	68.8%	-18.6%	-50.5%
	3.7%	-4.0%	7.8%	9.5%	8.9%	2.2%	9.3%	6.0%	3.8%
 「貸借対照表]									
	3,536	3,176	2,983	3,430	4,022	3,642	3,912	4,204	4,994
	12,392	12,350	13,197	14,210	14,885	15,295	16,838	18,197	16,973
	1,300	1,700	1,650	1,928	2,327	3,232	3,980	3,927	3,850
 純有利子負債	-2,236	-1,476	-1,333	-1,502	-1,694	-410	68	-277	-1,144
	3,431	3,608	4,040	4,566	4,728	5,242	6,490	7,553	6,402
株主資本	8,961	8,742	9,156	9,644	10,157	10,053	10,348	10,644	10,570
		·							
[収益率 %]									
ROA	8.25	5.31	5.29	6.20	8.22	9.81	10.56	9.22	8.02
ROE	10.98	7.12	7.41	8.88	11.73	14.43	16.26	14.73	12.33
[一株当り指標: 円]									
EPS	8.2	-8.3	21.0	30.9	26.9	6.4	35.4	25.1	13.3
BPS	563.0	549.2	575.0	605.6	637.6	630.7	648.8	667.4	662.6
一株当り配当	22.50	0.00	0.00	0.00	22.50	0.00	0.00	0.00	22.50
発行済み株式数 (百万株)	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.29	16.29	16.29	16.29

出所:同社資料より Omega Investment 作成



財務データ || (通期ベース)

単位: 百万円	2017/4期	2018/4期	2019/4期	2020/4期	2021/4期	2022/4期	2023/4期	2024/4期	2025/4期
[損益計算書]									
売上高	8,503	9,379	10,300	11,325	12,363	13,413	14,038	17,612	22,895
 前年同期比	30.8%	10.3%	9.8%	10.0%	9.2%	8.5%	4.7%	25.5%	30.0%
	4,485	4,618	5,056	4,894	4,802	4,892	5,563	6,745	9,398
売上総利益	4,018	4,761	5,244	6,431	7,562	8,522	8,476	10,867	13,497
 粗利率	47.3%	50.8%	50.9%	56.8%	61.2%	63.5%	60.4%	61.7%	59.0%
 販管費	2,916	3,381	4,080	4,686	5,382	6,319	7,225	8,959	11,151
 EBIT (営業利益)	1,102	1,380	1,164	1,745	2,180	2,202	1,251	1,964	2,354
 前年同期比	146.8%	25.2%	-15.7%	50.0%	24.9%	1.0%	-43.2%	57.0%	19.5%
 EBITマージン	13.0%	14.7%	11.3%	15.4%	17.6%	16.4%	8.9%	11.1%	10.2%
EBITDA	1,272	1,627	1,525	2,227	2,694	2,840	2,042	2,749	3,162
	1,010	1,259	1,179	1,582	2,144	2,463	1,396	2,009	1,991
	696	873	821	1,069	1,556	1,744	945	1,122	1,278
 親会社株主帰属利益	696	873	821	1,069	1,556	1,744	945	1,122	1,278
 前年同期比	169.7%	25.4%	-5.9%	30.2%	45.5%	12.0%	-45.8%	18.6%	13.9%
 利益率	8.2%	9.3%	8.0%	9.4%	12.6%	13.0%	6.7%	6.4%	5.6%
	0.270	3.570	0.070	3.470	12.070	13.070	0.770	0.470	3.070
 「貸借対照表〕									
 現金・預金	1,324	1,695	1,660	3,453	3,355	4,026	3,536	4,022	4,994
 総資産	4,240	5,042	5,761	8,097	8,342	10,524	12,392	14,885	16,973
 債務合計	468	298	500	1,740	104	544	1,300	2,327	3,850
 純有利子負債	-856	-1,397	-1,160	-1,713	-3,251	-3,482	-2,236	-1,694	-1,144
 負債総額	1,484	1,445	1,572	3,272	1,814	2,271	3,431	4,728	6,402
 株主資本	2,756	3,597	4,189	4,824	6,528	8,253	8,961	10,157	10,570
[キャッシュフロー計算書] 									
営業活動によるキャッシュフロー	576	1,246	651	1,934	1,941	1,186	695	886	827
設備投資額 	228	437	291	649	351	1,018	487	477	783
投資活動によるキャッシュフロー	-433	-674	-671 	-1,020	-412	-886	-1,507	-877	-922
財務活動によるキャッシュフロー フリーキャッシュフロー	69	-230 960	-7 526	933	-1,736 1,760	298 362	263 405	380 577	1,171
	404	900	520	1,440	1,700	302	405	311	223
 [収益率 %]									
ROA	19.18	18.81	15.21	15.43	18.94	18.49	8.25	8.22	8.02
ROE	29.30	27.48	21.10	23.73	27.42	23.60	10.98	11.73	12.33
当期利益率	8.18	9.31	7.97	9.44	12.59	13.00	6.73	6.37	5.58
資産回転率	2.34	2.02	1.91	1.63	1.50	1.42	1.23	1.29	1.44
財務レバレッジ 	1.53	1.46	1.39	1.54	1.45	1.28	1.33	1.43	1.54
[一株当り指標: 円] EPS	44.2	54.7	51.2	67.4	98.4	109.7	59.4	70.4	80.2
EFS BPS	174.0	224.1	263.0	305.5	411.1	519.1	563.0	637.6	662.6
 一株当り配当	4.50	5.50	6.50	7.00	10.00	22.50	22.50	22.50	22.50
 発行済み株式数 (百万株)	15.74	15.94	16.08	16.10	16.21	16.27	16.27	16.28	16.29

出所:同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したものですが、その内容及び データの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみ を目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメント は、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントのリサーチによるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。